


# 一般質問通告書

多可町議会議長 山口雄三 様  
多可町議会議員 大西一好 

平成25年 5月27日  
受領 午前 8時30分  
午後 時 分

質問の項目および趣旨	答弁を求める者
<b>I 住民発想の芽を伸ばし、民力の定着を支援すべき</b>	町長

町の施策に基づく地域活動をさらに発展させ、「選択と集中」を推し進めるためにも民力活用の拡大を図り、民間の手に大胆で有効な支援が必要と考えるが町長の所見を求める。

.....

.....

.....

.....

<b>II 情報格差を解消することが安全安心の第一</b>	町長
-------------------------------	----

民設民営の回線1chを借り受けての地域情報配信事業の拡大勧誘はケイオプティコムにあるものの、現状のたか TV の地域情報提供に対する受け手にその加入率が大きく影響する。情報を共有する視点から未加入者への今後の対策について所見を求める。

.....

.....

.....

.....

.....

<b>III 八千代区小学校統合可否に関するアンケートを読む</b>	教育長
------------------------------------	-----

本年3月実施の保護者、児童に対する「統合」に関する意識調査の結果が公表されました。この結果をどのように分析しているのか所見を求める。

.....

.....

.....

.....

.....

**I 住民発想の芽を伸ばし、民力の定着を支援すべき**

過疎化、高齢化によって地域の疲弊、衰退が指摘される中「民力」の育成による地域資源の活用が求められる。放棄田を活用する「菜の花エコプロジェクト」や20年の利用期間が到来し、その後も地元の方で利用者に応え地域の活性化に寄与すべく取り組もうとしている滞在型市民農園施設の運営団体がある。町にもたれて運営しているシステムを組み替える魁けとして、大胆に支援し独立の方向に導くべきと考える。

《菜の花エコプロジェクト》

バイオマスタウン構想の一翼フラワーバイオマスとして施策に乗ったもので、①放棄田の解消 ②景観 ③特産品開発等の民力発想でしかできない取り組みであり、交流人口の増、若者の定住と農業への定着を目指している。

6次産業化をめざしてのはしりとして、生産から販売までの行政としてはとてもできない取り組みをしている。5年経過の中で多くの商品化や販売路の確保をしながらの活動であり、今しばらくの支援は必要と考えるが。また、総合計画の中にはフラワーバイオマスについては「引き続き調査研究に取り組む」とあるが、調査研究の中身はどのようなものかを問う。

《フロイデン八千代》

滞在型市民農園施設として当時一躍内外の脚光を浴びた施設、26年度で満期を迎えるが地域としては今後10年間程度民間運営で広く希望者に応えると共に、地域の活性化を図ろうと考えている。

この件は、町との関係が整理できるチャンスで、今後の各施設のモデルケースにもなる。どのような形で応えるのか。基金関係はどのようになっているか。

以上、町長の所見を求めます。

**II 情報格差を解消することが安全安心の第一**

ケーブルテレビによって地域コミュニケーションが活発化して住民参画による自立の魅力あるまちづくりが可能となることを理解しながら、民間サービスを活用することとなった。

すべての住民が等しく情報発信高度化の利益を享受できるよう配慮すべきものであり、公平負担・公平な情報の共有化が当然と考える。現在のたかテレビの加入率の状況と毎年の加入実績はどのようになっているか。

昨年度の事業仕分けデータから24の番組を配信しているが、未加入者への影響はないのか。

今後加入率100%を目指すべきと思うが、企業努力・行政努力としてどのように対応するのか。

また、加入率向上を図るために強く進めると同時に、初期費用の補助を考えてはどうか。たか情報難民解消に向けて町長の所見を求めます。

